

■ 静岡新聞広告賞 2019

「クルマを、売るな。/ 駄菓子屋になれ。」 静岡トヨペット

◆ 2019年7月19日、28日 朝刊 全15段 <全県版>

◆ 電通東日本 CD:瀬島裕太(電通東日本) PL:笠原遼太(電通東日本) C:片桐義晴(WORD FREAK)

AD:宇佐美敦史(PROJECT'MONKEY) AE:川上智己(電通東日本)・中川直暉(電通東日本)

クルマを、 売るな。

クルマ屋なのに、クルマを売らない。これは、『キラキラ探検隊』をスタートさせたときに決めた私たちのルールです。冒険する人にとって、お宝の情報以外はいらないから。実はこの『キラ探』、全32ページの「宝の地図」25万部を無料で配らせていただいたら、いつもと違う仕事が増えたり、お金と時間がとんでもなくかかっています。それなのにクルマを売らないなんて、営業マンは大汗が止まりません。本当のところ、1回しかできないかなというのが、当初の感じでした。さらに『キラ探』がはじまる、「蜂の巣バスター(episode-1)」など体験したことのないトラブルつづき。スタッフは「現場へ緊急出動」するなど、いつもとは違う汗をかくこともしばしば。ところが同時に、「楽しくて、楽しくて…」「カングキ! 父娘のほっこりタイム(episode-2)」など、『キラ探』がなければ経験できなかった素敵なエピソードがいっぱい寄せられました。思いもよらないその内容に私たちの心は震え、やめるなんて誰も言えなくなりました。こんなに多くの人が笑顔になる機会をつくれるのなら、ご家族が感動する物語のサポートができるなら、そのときクルマを売らないことくらい、何でもありません。静岡に生きる静岡トヨペットとして。

(Episode-1) 蜂の巣バスター:蜂が出た!との知らせを受け、駆除スプレーを持って緊急出動したものの、土の中にある巣の大きさにビビリ、プロに依頼することに。あ~焦った。

(Episode-2) カングキ! 父娘のほっこりタイム:それまで一人きりで話すことがあまりなかった父娘から届いたコメント。「人生で一番違う親子の時間でした。」

→ 次回「駄菓子屋になれ。」(7/28掲載予定)

明日
7/20(土)から
スタート!!

キラキラ探検隊
伝説の海賊団と世界へのトビラ

みんなで参加! 目指せ10万人!!

社長:「早いもので今年で5年目か。 そろそろ静岡県民の3%くらいは参加してくれるんじゃないかな?」
社員:「社長、本気だったんだ…」
社員:「10万人の冒険者を全力でお迎えする“キャスト”になるんだ!」
社員:「オ、オーッ!」

絶対に捐は
させません!



すべては、選ばれる 静岡トヨペット するために。

<https://www.shizuakatoyopet.jp>

Shizu
tetsu
静岡トヨペット
人と社会をつなぐ

駄菓子屋 になれ。

「ランドセルをおいてから遊びにおいて」平日の午後、小学生に声をかける店長。これは駄菓子屋さんではなく、静岡トヨペットの WONDER LAND 店 (Episode-3) での日常です。WONDER LAND 店は、目指せ、街の駄菓子屋さん。クルマ屋なのに、道沿いにはたくさんの木々と楽しそうな遊具がいっぱい! なんだか見た目だけでもウキウキします。さらにここは子どもたちが騒いでも、走っても、歌ってもOK。そんなわんぱくキッズたちのために、私たちは『アタリ』『オマケ』を用意します。夏にはお店のお兄さん、お姉さんがカブトムシを買ってきて(笑)、お店の木に放したり。見つけた子は『アタリ』!! さらに、お店のガーデンで「オリーブ実つけた (Episode-4)」、プレミアムコンサートをきっかけにした「プレゼントは電子ピアノ (Episode-5)」など、ホンモノの体験ができた子は『大アタリ』!! 静岡トヨペットに遊びに行くと、子どもがはしゃぎまくって夜早く寝てくれる『オマケ』は、ママのために。子どもたちの「楽しむ姿」や「健やかに成長する姿」が気になって仕方がない大人となれたのは、私たちスタッフにとっての最大の『オマケ』。街の駄菓子屋のおじさん、おばさんがそうであったように…。静岡トヨペットはこれからも『アタリ』『オマケ』あふれるコミュニケーションスペースを静岡に創りつづけます。静岡とともに生きていくために。

Episode-3 WONDER LAND店: 大人も子どもも楽しく仕方がない、そんなお店がWONDER LAND店。現在静岡県内に6か所。SKP会員のみんなが大人になる頃には全店舗…できるかな?

【SPOILER】オーラン美しかけた。WONDER LANDには、オーランマレボンの木が育っていて、学園ごとに様々な変化が「こともの庭やかな成長を願ひより」と、木々の成長も日々の変じて、

Episode-5 プレゼントは電子ピアノ！「プレミアムコンサート」を体験した小学生の娘さんが、「クリスマスプレゼントは電子ピアノがほしい！」と突然リクエスト。ママはとてもびっくり！



すべては、選ばれる **静岡トヨペット** であるために。

<https://www.shizuokatoyopet.jp>

Shizu
tetsu
静にいるどりを。人にときめきを。

【企画意図】

静岡トヨペットは、静岡の地域に根差す「カーディーラー」ですが、普通のクルマ屋さんではありません。社員総動員で、リアル宝探しイベント「キラキラ探検隊」を毎年行ったり、子どもがホンモノ体験できるコミュニティ、キッズクラブ「スキップ」をスタートさせたり、遊具や緑溢れるワンダーランド店舗を次々オープンさせたりと、カーディーラーの枠を超えたユニークな取り組みばかりです。その静岡トヨペットの企業姿勢を、「クルマを、売るな。」「駄菓子屋になれ。」という逆説的なコピーで表現し、「社外秘」というフレームで、通常語られることのない裏話を原稿にしました。